

題目

当社マイカ、タルク製品の官能評価結果(1)

分類

化粧品

作成者

伊藤 恭三

作成年月日

2019年1月29日

## (要旨)

ファンデーションの体質顔料として、化粧品メーカー各社の製品に当社のマイカ粉やタルク粉が配合されているが、化粧品処方の開発コンセプトに適した粉体製品が要求される。

ヤマグチマイカは、原料鉱石の違いだけでなく、原料の前処理や粉砕・分級などの製造条件によって粉体の感触や光沢をコントロールしており、バリエーションに富んだマイカ粉、タルク粉を製造し提供している。

## (実施事項)

当社で粉体の官能評価に携わる3名によって、幾つかの粉体製品を触り、その密着感、滑り感、光沢感を官能評価項目とした比較評価を行い5段階で点数付けした。

なお評価者によって最大値・最小値が異なるので、評価者毎・項目毎に最大値が5点、最小値が1点となるように補正後、項目毎に3名の点数の平均値を結果とした。

今回比較した各製品の粉体特性と官能評価結果を示す。

## (結果)

表1. マイカ粉、タルク粉の粉体特性と官能評価結果

鉱石	品名	粉体特性				官能評価結果(※)		
		粒平均径 μm	(参考)クアトスペ 比	光沢度 GU	動摩擦係数	密着感	滑り感	光沢感
			-	GU	-	-	-	-
マイカ	Y-2300X	19	60	12	0.58	3	2	2
	SA-310	26	70	14	0.55	2	3	3
	FA-450	28	-	22	0.58	3	3	5
	TM-20	18	150	18	0.78	5	1	4
タルク	EX-15	15	20	5	0.37	1	5	1
	CT-35	17	20	5	0.50	1	4	1

(※)官能評価結果の数値について

- ・密着感：高い5 ↔ 1低い
- ・滑り感：滑る5 ↔ 1滑らない
- ・光沢感：高い5 ↔ 1低い

## (まとめ)

- ・マイカとタルクの鉱石の違いで、マイカは密着感が高く、滑り感は小さく、光沢感は大い。
- ・マイカ TM-20 は、他のマイカ製品と比較して密着感が高い。  
…TM-20 は原料の前処理を実施しており、粒子形状を薄片化しているために密着感があり、柔らかい感触となる。
- ・マイカ FA-450 は、他のマイカ製品と比較して光沢感が大い。  
…FA-450 はソフトな粉砕条件と粒度調整によって、光沢感が高い製品にしている。  
逆に Y-2300X は粉砕条件と粒度調整で、光沢を抑えた製品にしている。